

令和元年度第3回酒田市地域公共交通会議議事録

(敬称略)

| | |
|----------------|--|
| 会議名 | 令和元年度第3回酒田市地域公共交通会議 |
| 開催日時 | 令和元年12月26日(木) 11時00分～12時10分 |
| 開催場所 | 酒田市役所4階庁議室 酒田市本町二丁目2番45号 |
| 出席者氏名 (敬称略) | <p>(構成員) 19名</p> <p>酒田市副市長 矢口明子[会長] 庄内交通株式会社代表取締役社長 村紀明[副会長] 東北公益文科大学学部長 神田直弥[副会長] 庄内交通株式会社専務取締役 本山経一 一般社団法人山形県バス協会専務理事 小関和夫 一般社団法人山形県ハイヤー協会酒田支部長 山崎正人 酒田市自治会連合会会長 阿部建治 酒田市地区自治会連合会会長 佐藤俊次 八幡地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 長谷川裕 松山地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 後藤吉史 平田地域コミュニティ振興会連絡協議会会長 梅木春一 特定非営利活動法人酒田市障がい者福社会理事長 佐藤健治 国土交通省東北運輸局山形運輸支局首席運輸企画専門官 大久保光康 私鉄庄内交通労働組合書記次長 屋代高志 酒田警察署交通課交通課長 小野泰史(代理出席) 庄内総合支庁建設部道路計画課課長補佐 本間直樹(代理出席) 酒田市建設部長 伊藤優 庄内総合支庁総務企画部総務課連携支援室長 中村秀毅 酒田市健康福祉部福祉課長 柿崎宏一</p> <p>(事務局) 8名</p> <p>企画部長 阿部勉 都市デザイン課都市計画・地域公共交通主幹 本間克由 都市デザイン課課長補佐 五十嵐國敬 都市デザイン課地域公共交通係長 成澤直樹 都市デザイン課地域公共交通係主任 阿部吉成 都市デザイン課地域公共交通係主任 後藤大輔 庄内交通(株)取締役 高橋広司 庄内交通(株)鶴岡営業所乗合バス課長 中村美穂</p> |
| 欠席者氏名 (敬称略) | <p>(構成員) 2名</p> <p>酒田市老人クラブ連合会会長 梨本利雄 国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所道路管理課長 齊藤正志</p> |
| 傍聴者 | 3名 |

| | |
|---|--|
| 協議題等 | <p>【報告事項】</p> <p>(1) 酒田市地域公共交通網形成計画における施策体系</p> <p>【協議事項】</p> <p>[議案第1号] 酒田市福祉乗合バス及び酒田市福祉乗合タクシーの運賃改定について</p> <p>[議案第2号] 酒田市福祉乗合バスの令和2年4月1日ダイヤ改正について</p> <p>[議案第3号] 酒田市福祉乗合タクシーの松山庄内町線について</p> <p>【その他】</p> |
| 会議の要旨 | 以下のとおり |
| <p>【進行】事務局（地域公共交通係長）</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>現在、路線再編の考え方の整理をしているところである。事業者の方々からは市民や観光客のために協力をお願いしたい。地域代表の皆さんからは利用が増えるような協力をしてもらいたい。専門家の方からはアドバイスをいただきたい。</p> <p>(事務局（地域公共交通係長）) 構成員 21 名中、出席者 19 名、欠席者 2 名で、過半数の出席があるため、酒田市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 2 項の規定により、本日の会議は成立となる。</p> <p>3 報告事項</p> <p>(事務局（地域公共交通係長）) 要綱の規定により、これからは会長から議事進行をお願いする。</p> <p>(議長（会長）) 本会議の議事録署名は、大久保光康委員、伊藤優委員に依頼したいがよろしいか。</p> <p>(各委員) 異議なし。</p> <p>(議長（会長）) それでは、「3 報告事項」について事務局から資料の説明をお願いする。</p> <p>(事務局（都市計画・地域公共交通主幹）) 【報告事項（1）説明】</p> <p>(議長（会長）) 目的地（観光地）別時刻表を作成したことで、バスの便数がとても多いことが分かった。庄内空港からは成田発のジェットスターも飛んでおり、外国人も来ることから裏面は外国語表記にした。意見質問はあるか。</p> <p>(各委員) なし。</p> <p>4 協議事項</p> <p>(事務局（都市計画・地域公共交通主幹）) 【議案第 1 号説明】</p> <p>(阿部建治委員) 生活保護受給者の割引はないのか。</p> <p>(議長（会長）) るんるんバスの運転手は庄内交通のため、分かりやすいように庄内交通と同様にした。</p> <p>(柿崎宏一委員) 生活保護受給者の証明はできないし、公共交通への手当もない。</p> <p>(議長（会長）) JR も生活保護の割引はない。どこも同じか。</p> <p>(村紀明副会長) ひとり親家庭もあり、枠の広げ方は難しい。</p> | |

(佐藤健治委員) 障がい者割引を作ってもらってありがたい。感謝申し上げる。

(阿部建治委員) 川南の方からは乗継割引はできないかとか実証実験で意見が出た。また、バスの運転手が優しくて感激したという意見があった。

(議長(会長)) 乗継割引はほかの自治体で行っているので今後の課題とする。

(事務局(都市計画・地域公共交通主幹)) 経費がかかっているので運賃の値上げをし、運賃区分は分かりやすさを意識したものであるのご理解いただきたい。

(議長(会長)) ご質問がないようであれば、議案第1号について同意してもらえるか。

(各委員) 異議なし。

(議長(会長)) 議案第1号は承認された。

(議長(会長)) 続いて議案第2号について事務局から説明をお願いします。

(事務局(都市計画・地域公共交通主幹)) 【議案第2号説明】

(議長(会長)) 質問がないようであれば、議案第2号について同意してもらえるか。

(各委員) 異議なし。

(議長(会長)) 議案第2号は承認された。

(議長(会長)) 続いて議案第3号について事務局から説明をお願いします。

(事務局(都市計画・地域公共交通主幹)) 【議案第3号説明】

(後藤吉史委員) 庄内町へのデマンドタクシーは以前から要望しており、このまま実施してもらえたら大変ありがたい。庄内町のバスへのアクセスも考えていただいた。

(山崎正人委員) 山形運輸支局への申請は条例改正後で間に合うのか。

(事務局(都市計画・地域公共交通主幹)) 条例改正と申請は同時進行で行う。

(議長(会長)) 質問がないようであれば、議案第3号について同意してもらえるか。

(各委員) 異議なし。

(議長(会長)) 議案第3号は承認された。

5 その他

(神田直弥副会長) 車の利用を減らして車以外の機会を提供し、バスを日常の移動手段にしてもらえるかという「トラベルフィールドバックプログラム」を実施している。るんるんバス市内循環 AB 線の沿線 200 名と庄内交通余目線とデマンドタクシーが運行する新堀地域の住民 200 名の計 400 名を対象に実施。1 回目は現在どこに何で行っているかを調査して 200 名が協力。2 回目はバスで行けそうなところをアドバイスするもので 140 名が協力。3 回目はどれだけ車の利用が減ったかを報告してもらおう。4 回目はフィードバックをする。

(阿部建治委員) 100m 先も車で行くような横着な人が多い土地柄。バス停へは長くて 1 km 以内までは徒歩可能で、500m であれば歩く。バスにいかに引き込むかが課題。また、オール酒田の自治会の会合でバス乗車一人当たり 3,500 円(平田) かかっていると説明がありショックを受けたが、どんどん開示する方が良い。

(神田直弥副会長) 徒歩とバスを使うことで消費カロリーが増えるとか、CO₂ が減るという別の視点があることの認知が必要。統計的には 75 歳超になると高齢者事故が増える。今回の調査は協力してくれる方が少なかった、来年は郵送ではなく、ワークショップなど対面の方法で考えたい。

(阿部建治委員) 防災もそうだが小学校 4、5 年生など小さい時から教育することが大事。

(神田直弥副会長) 子どもが乗れば親も乗る。

(議長 (会長)) 自治会連合会の実証実験を教えてもらえないか。

(阿部建治委員) るんるんバスを使って実際に日本海総合病院に行くものである。松陵や古湊地域は庄内交通もあるがバス停までの距離が遠い。時刻表を見るのも大変なので、地域ごとの目的別時刻表を作ることも必要と思った。

(議長 (会長)) 地域別の目的地別時刻表は生活支援コーディネーターから作成してもらえたらありがたい。

(後藤吉史委員) 次の3つをお願いしたい。①住民向け (地域毎に) の目的地別時刻表を作成。②目的地別時刻表は簡単に手に入る場所に設置。③目的地は市街地だけでなく周辺部も対象にして作成。

(事務局 (都市計画・地域公共交通主幹)) できることは今後取り組んでいきたい。

(阿部建治委員) 朝の山形行きの高速バスで始発が鶴岡の便がある。酒田発にできないか。

(事務局 (中村課長)) 配車の関係である。

(阿部建治委員) 山形行きは予約なしで乗られるが、仙台行きは予約しないといけないのはなぜか。

(事務局 (中村課長)) 仙台行きは路線が長く、短距離での細かい運賃設定がないため。

(村紀明副会長) 山形便は10便あったが8便に減った。山交バス便が減って6便が庄内交通、2便が山交バスで共同運行している。山交バスには増便も要望しているが、なかなかうまくいかない。

(事務局 (中村課長)) バスの位置をスマートフォンで知ることができるバスロケーションシステムを12月23日から導入した。アプリを起動して地図上から選んだバス停を出発地と到着地に入力すると発着時間と料金が表示される。バスの接近もアラームと振動で教えてくれるので家や施設で待ってバス停に行くことができる。

(事務局 (地域公共交通係長)) るんるんバスもバスロケーションシステムを昨年導入し、料金は出ないがウェブ上で路線、出発地、目的地を入力して現在のどの位置にバスがいるかを知ることができる。大雪時に効果を発揮した。Google マップでの路線検索は、バス停までの徒歩のルートとバス停から例えば日本海病院までのバスルートを検索することができる。Yahoo 乗換案内にも対応している。

(佐藤健治委員) ヘルプマークの席はバスにあるか。

(事務局 (都市計画・地域公共交通主幹)) ヘルプマークのポスターをバス車内に掲示し、そういう方が乗車したら配慮してもらおうようにしている。

(事務局 (都市計画・地域公共交通主幹)) るんるんバス「酒田駅大学線」のかんぼの宿発7便 (17時05分発) が、工業団地や大学からの帰宅者で常時混雑しており、今年度は大学前で3回満車で乗れなくなった人がいることを確認している。一方でバスを大型化すると通れない経路があること、増便のための車両がないことなどから、来年度以降、ハイヤー協会酒田支部の協力を得てタクシーによる代行輸送を検討している。

タクシーの代行輸送は、バスの乗客が定員 (34人) を超えた場合、運転手がタクシーを手配し、利用者はバスに運賃を支払い、その後到着したタクシーに乗車し、バス停で乗り降りするシステムになる。酒田市はタクシー事業者にメーター料金を支払う。車両はタクシーだ

が、あくまでもバスとしての運行になる。

ほかの便については、高校のイベント等で突発的に満車になることがあることは確認しているが、問題があるとの情報は入っていない。

なお、大学前から中町あるいは酒田駅前へ行く場合、運賃は高くなるが、庄内空港発酒田駅行の庄内空港連絡バスも乗車可能であるため、そちらの周知も、庄内交通や東北公益文科大学と連携して行っていく。

協議事項2の補足だが、バスの待機所は現在かんぼの宿だが、営業終了後は使えなくなるため、夏場は酒田市美術館下の駐車場、冬は酒田市美術館で除雪しないため、除雪をする飯森山公園を検討している。

6 閉会

(事務局（地域公共交通係長）)

それでは、以上をもちまして、第3回酒田市地域公共交通会議を終了いたします。大変お疲れ様でした。

令和元年12月26日に開催された、令和元年度第3回酒田市地域公共交通会議の議事内容について、上記議事録のとおりであることを確認いたしました。

令和2年1月7日

議事録署名人

酒田市地域公共交通会議委員

大久保 光康

酒田市地域公共交通会議委員

伊藤 慶